



「尚徳」 2月号 第593号 令和4年2月28日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<https://sho.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>

題字「尚徳」は、住川英明 地域学部教授 (元校長)



## この冬を乗り越えて

校長 山下 博樹

例年になく雪がよく降る冬となりました。大雪警報発令、年明けからの本校関係者の新型コロナウイルス感染による臨時休業ではご負担、ご心配をお掛けしました。ご理解とご協力に御礼申し上げます。

本校でも最大限の注意を払いながら毎日を過ごしていますが、学校や放課後児童クラブなど子供たちが関わる施設で感染が拡大していることが、現在私たちの最も気になる点です。昨年末のオミクロン株による感染拡大以前は、県内外の感染状況をにらみながら、何とかいろいろな知恵と工夫で学校での教育活動や諸行事を実施にこぎつけることが出来ていました。しかし、年明けからの感染拡大ではワクチン未接種の子供たちの感染が増え始め、県内でも多くの学校が影響を受けています。いつかはこの日が来ることを予測していながらも、学校関係者の感染は想像を超える大変な対応となりました。ここでは対応の顛末の一端をご紹介します、関わってくださった方々への感謝とともに、こうした状況を避けるための情報共有をできたらと思います。

この間の本校関係者の感染発生では鳥取市保健所に大変お世話になりました。本校の保健所との連絡には葉狩副校長が、関係者との連絡、情報収集などには磯江教頭、丸田養護教諭らが対応しました。現状では感染者だけでなく濃厚接触者となった人までの範囲で、いろいろな行動制限を受けることとなります。保健所が濃厚接触と考える範囲は、感染が確定した人の感染の症状が現れた2日前、あるいは感染者に症状がない場合は、感染が確定した日の2日前までにさかのぼって、その人とマスクなどの感染予防をせずに1m以内、かつ15分以上接触した人です。つまり家族以外の人とこうした状況になることはほとんどないのが現状ですが、子供たちの中には登下校や休憩時間などに油断してマスクを外してしまう人も散見されます。こうした油断が濃厚接触と判断される可能性のある人を増やしてしまうこととなります。このように行動履歴が重視されるのです。少しでも感染リスクの高い行動をとったり、体調に日頃とは異なる様子が現れたりした場合は、慎重に判断して休養することが大切となります。

今年度も残すところあと1か月となりました。何とか無事に卒業式、修了式を迎えられるよう、最後まで「油断禁物」で乗り切りたいと思います。引き続きご協力いただけますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 3月の行事予定

1日 (火) 記名調べ 学校評議員会	17日 (木) 臨時休業日 第75回卒業証書授与式
2日 (水) 職員会議	21日 (月) 春分の日 (祝日)
4日 (金) 全校一斉大掃除・廊下ワックス掛け	22日 (火) 【B週】
7日 (月) 【B週】	24日 (木) 修了式・離任式 ※給食なし・11:00頃下校
8日 (火) 研究日	25日 (金) 学年末休業日 (春休み) 開始 集金引落日
11日 (金) 弁当の日 6年デラックス給食 教室ワックス掛け	来年度初めの予定
14日 (月) 【A週】 研究日	4月6日 (水) 着任式・始業式
16日 (水) 卒業式前日準備 ※1~4・6年給食後13:00頃下校 ※5年5校時後15:00頃下校	4月7日 (木) 入学式



新型コロナウイルスの感染状況により、変更することがあります。

## 学校の様子・子供の様子

今年に入り、鳥取県内でも新型コロナウイルスへ感染が急拡大し、本校でも臨時休業や分散登校といった対応を余儀なくされました。保護者の皆様には、急な対応となりましたが、ご協力をありがとうございました。学校においても、日々の授業、生活での感染防止、雪の学校・実りの学校・6年生を送る会など、多くの行事について延期や実施方法の変更、中止などの対策を行い、感染防止に最大限配慮しながらできる形で取り組んでいるところです。

今後もこのような状況がしばらく続くことが予想されますが、皆様のご理解、ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

### \*\*\* 薬物乱用防止教室 \*\*\*



例年6年生が薬物乱用防止の学習を行っていますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2月10日に学校薬剤師の徳吉先生と教室をオンラインでつなげ、学習を深めました。

学習の中で、正しく薬を服用するためにコップ一杯の水が必要なことを実験を通して理解しました。また、麻薬などの薬物が体内に入ってしまうとどのような悪影響があるのか、薬物に近づかないようにするためにはどうすればよいのかなど、薬物を使うよう誘われたときの断り方も学習しました。麻薬などの薬物は決して遠い存在ではありません。今後、より社会に近づくことになる6年生にとって、学びの多い教室となりました。

### \*\*\* 箏の学習 \*\*\*

音楽学習の一環で、和楽器に触れ、日本に古くから伝わる音楽に関心を持ち、音楽を愛する豊かな心情を育むことを目的に、特別非常勤講師の佐々木先生をお招きして、5・6年生が箏（琴）の学習を行いました。

講師の先生の指導の下、弦の弾き方、音階などの基本を教えられ、「さくらさくら」を演奏しました。また、最後には「春の海」の演奏を鑑賞しました。

箏の音を味わいながら、和の音楽に興味をもったり、もっと弾きたいと向上心をもったりと、子供たちがそれぞれの思いをもって取り組みました。



### \*\*\* 「実りの学校」について \*\*\*

新型コロナウイルスの感染急拡大を受けて、実りの学校について保護者の皆様が来校しての実施は行わないこととお伝えしております。

実りの学校は、低学年は生活科を中心とした学習のまとめ、中・高学年は総合的な学習の時間のまとめを発表という形で行っているものですが、感染防止を第一に考え、今までのように児童が集まった発表はできません。そこで、各学年の実態に合わせてどのような方法で学習のまとめを表現することができるかを検討してきました。現時点では、「それぞれの児童が自分の学びをプレゼンテーションにまとめる」「自分の学びを個人で発表し、動画に記録する」「少人数での発表を動画撮影する」などの方法で学習のまとめを行っているところです。

実りの学校としては、各学年が学習のまとめをした、「プレゼンテーション」や「発表の様子動画」を、3月中旬にそれぞれの学年の保護者の皆様にご覧・視聴していただくと考えております。舞台として見せる形ではありませんが、「学習のまとめ」としてぜひご覧ください。

準備が整いましたら改めてご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。